

今月の 15 首

佐佐木幸綱・選

東日本大震災を語りをりたつた一人の遺体も見ずに

行きずりに気易く肩を叩くようにがんばれと言いがんばろうと言う

四^キ尻^コをふとりたるのち四^キ尻^コを瘦せたる我を我のみぞ知る

追^キい越^コしてツバメ去りたり中空に速度が描く涼やかな線

鯉のぼりと呼ばれているが生涯のほとんどは鯉の箱詰めなのだ

大樹伐り悔いの滲める曇天に雁しわがれた一声発す

うたたねを二、三はこべる終バスは久^ク留^ル里^リ・富^フ楽^ラ里^リとぬけてふるさと

付箋紙を一枚一枚剥ぐやうに話しはじめの地震、原発

スーパ一のレジ打ちしひと別人として夕闇の自転車に乗る

いたく瘦せ赤きセーター着て笑まふ、失恋するにも体力が要る

足柄の茶畑に降るセシウムの甘美な響き青の意といふ

セシウムはひつそりと降りぬばたまの月に濡れたる黒^ス炭^ミの切り口

ひらきては黒き瞳をまた閉ぢぬ鶉にもあるか放心のとき

張られたる円型のみづ 柿^エの枝^エのあはひの夏のをぞら映す

単独の来客減りて複数で訪ねらるるが多くなりたり

伊藤 一彦

片山 紫

山本 陽子

細溝 洋子

武藤 義哉

藤原 葉子

クリシユナ智子

松元 雅子

高山 邦男

梅原ひろみ

大橋 伸宏

金 美苑

水本 光

田中 薫

黒岩 剛仁